博士後期課程／口腔保健学専攻／博士（学術）

口腔保健学専攻（博士後期課程）では，長寿福祉口腔保健学の学際領域の教育・研究を自ら構築し展開できる人材を養成することをめざし，以下の方針で教育課程を編成・実施します。

1. 履修科目は長寿福祉口腔保健学の基盤を形成する基礎科目と 3 つの専門科目（専門基礎科目，専門展開科目，課題研究科目）から構成され，学年進行に併せた段階的な教育課程の編成としている。

2. 基礎科目として，医療系研究科（医・歯・薬・栄養・保健）が合同で開講する全専攻系共通カリキュラム科目を受講し，多様な学生が学生間で切磋琢磨しながら，学際的な基礎的・臨床的知識を修得する。

3. 専門展開科目では特色を有する 6 領域を設定しており，このうちの 2 領域の専門展開科目を修得することにより，養成の目的に応じたカリキュラム体制が構築できる。

4. グローバル化を見据えて大学院授業科目の受講や研究発表に英語を組み入れ，国際社会で通用するコミュニケーション能力を獲得させる。

5. 博士論文の作成と研究成果の発表を通じて，超高齢社会における諸問題の理解・解決能力ならびに新分野を開拓する能力を身につけ，長寿福祉口腔保健学の進歩に貢献できるよう研究指導を実施する。